

議会だより

令和4年

第70号

10月14日発行

秋の誘惑

季節の移ろいを感じ始めた10月上旬。
汐見川のほとりで真っ赤に色づいたヒガンバナが風に揺れ、誘われるようにチョウが舞った。

Contents

- 燃油・飼料の高騰対策に助成金 ②～③
- 町のふところ事情を審査 ④～⑤
- 一般質問 町政を問う ⑥～⑫
- 学校統合再編調査特別委員会を設置 ⑬
- 常任委員会の審査報告 ⑭～⑮
- 議会のうごき ⑯

9月の一般質問は…

- ・ サツマイモ新品種の実験は (林 義明)
- ・ 小中学校の再編・統合は (上平 重)
- ・ 新型コロナ対策と今後の施策は (上筋 睦雄)
- ・ 合併浄化槽設置補助金の継続を (兒玉 誠)
- ・ 校内樹木の倒木の危険性は (小田 勝志)
- ・ 川内原発20年延長は (楠元 康博)

燃油・飼料の高騰対策に助成金

経済支援にプレミアム付き商品券第3弾

令和4年第3回長島町議会定例会が、9月2日から22日まで21日間の日程で開かれた。

一般会計補正予算(第3号)は、物価高騰で落ち込む町内経済を支援するプレミアム付き商品券(第3弾)のほか、燃油や配合飼料価格の高騰で経済的に影響を受けた農漁業者を救済するための補助経費などを盛り込み総額118億320万7千円(5億839万4千円追加)となった。

国民健康保険など4特別会計に係る補正予算や条例改正など6件の議案を2つの常任委員会で審議した結果、原案のとおり可決した。(審議の詳細は14〜16ページ)

また、決算審査特別委員会を設置し、令和3年度決算14件を認定、水道事業会計未処分利益剰余金の処分に関する議案1件を可決した。

最終日の22日は、価格高騰による負担軽減のため住民税非課税世帯などに給付金(5万円)を支給するための補正予算案などが追加提案され、原案のとおり可決した。定例会で可決した議案や主な予算は次のとおり。

令和4年度特別会計補正予算 主な事業費 (単位：千円)

- 国民健康保険特別会計(第2号)
国保データベースシステム改修委託料……………165
- 国民健康保険診療施設特別会計(第3号)
鷹巣診療所の特殊勤務手当、備品購入に係る経費……………1,557
- 介護保険特別会計(第3号)
介護予防推進事業に係る経費……………2,000
- 太陽光発電特別会計(第1号)
購入電力量計量器取替工事負担金……………59

令和4年度一般会計補正予算(第4号) (単位：千円)

- 子育て世帯等臨時特別支援事業
(価格高騰緊急支援給付金)……………86,733



家計をひっ迫する値上げの波

令和4年度一般会計補正予算(第3号) 主な事業費 (単位：千円)

- 牛深・蔵之元航路交通基盤維持特別対策事業補助金……………5,000
- 離島航路補助金(幣串・水俣航路)……………6,310
- 共通納税拡大対応に伴うシステム改修費……………605
- マイナンバーカード申請機器リース料……………1,122
- 保育所等給食支援事業に係る経費(6園)……………2,709
- PCR等検査無料化事業に係る経費……………25,920
- コロナ感染者の食糧支援などに係る経費……………8,600
- 漁業者燃油高騰対策補助金……………17,777
- プレミアム付き商品券に係る事業委託料……………56,600
- 森林用現地確認システム購入費……………1,628
- 施設園芸燃油高騰対策補助金……………750
- 活動火山周辺地域防災営農対策補助金
(果樹花きハウス建設)……………53,652
- 畑作農産加工センターの敷地購入費……………5,454
- 配合飼料価格高騰対策補助金……………15,300
- 川床小学校牛乳保管用冷蔵庫購入費……………239
- 獅子島化石発掘調査に係る経費……………1,225

定例会で決まったこと

健全化判断比率・資金不足比率を報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の定めるところにより、長島町における令和3年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率が報告された。

本浦地区の港整備 本体工事の契約を締結

平成30年度に着手した本浦地区の港整備で、今年度完成に向け浮き桟橋本体の工場製作と運搬・設置に係る工事請負契約を締結。契約額1億5532万円で、ティエス㈱と契約締結。工期は令和5年3月24日まで。



今年度完成予定の本浦港浮き桟橋

診療所へ3Dワーク ステーションを導入

X線CT装置の操作や処理を行うコンピュータで、撮影装置の操作や、撮影した画像の処理、立体画像の作成などを行う機器を鷹巣診療所に導入する。

契約額924万円で、㈱さくら医療器械と契約締結。納期は令和4年9月30日まで。

ノートパソコン購入売買 変更契約を締結

7月21日の第3回臨時会で可決した、庁内のノートパソコン50台を購入するための売買契約で、購入台数を69台に増やし、契約金額を増額した変更契約を締結。

契約の相手は、リコージャパン㈱マーケティング本部鹿児島支社で、納期は令和4年12月16日まで。

○当初契約額（臨時会）
769万8900円（50台）
○変更契約額（定例会）
1062万4482円（69台）



採決に望む議員

感染症業務従事職員へ 特殊勤務手当を支給

新型コロナウイルス感染症に係る検査などの業務に従事した職員へ、業務の特殊性を踏まえた防疫等作業手当を支給するため、職員の特務勤務手当に関する条例の一部を改正し、次の特例を加えた。

- ① 感染症から町民の生命および健康を保護するために緊急に行われた措置（1日当たり3千円）
- ② 感染症の患者やその疑いのある者に接して行う作業（1日当たり千円）

利益剰余金を減債積立金へ

令和3年度水道事業会計決算で生じた利益剰余金、約2300万円を、企業債償還のための減債積立金に積み立てた。

人権擁護委員を答申

人権擁護委員1人が令和4年12月31日で任期満了となることから、村尾美代子氏（上揚）が推選され、適任者として答申した。

臨時会で決まったこと

副町長に長岡氏

第3回臨時会



長島町副町長
長岡 勇二 (61)

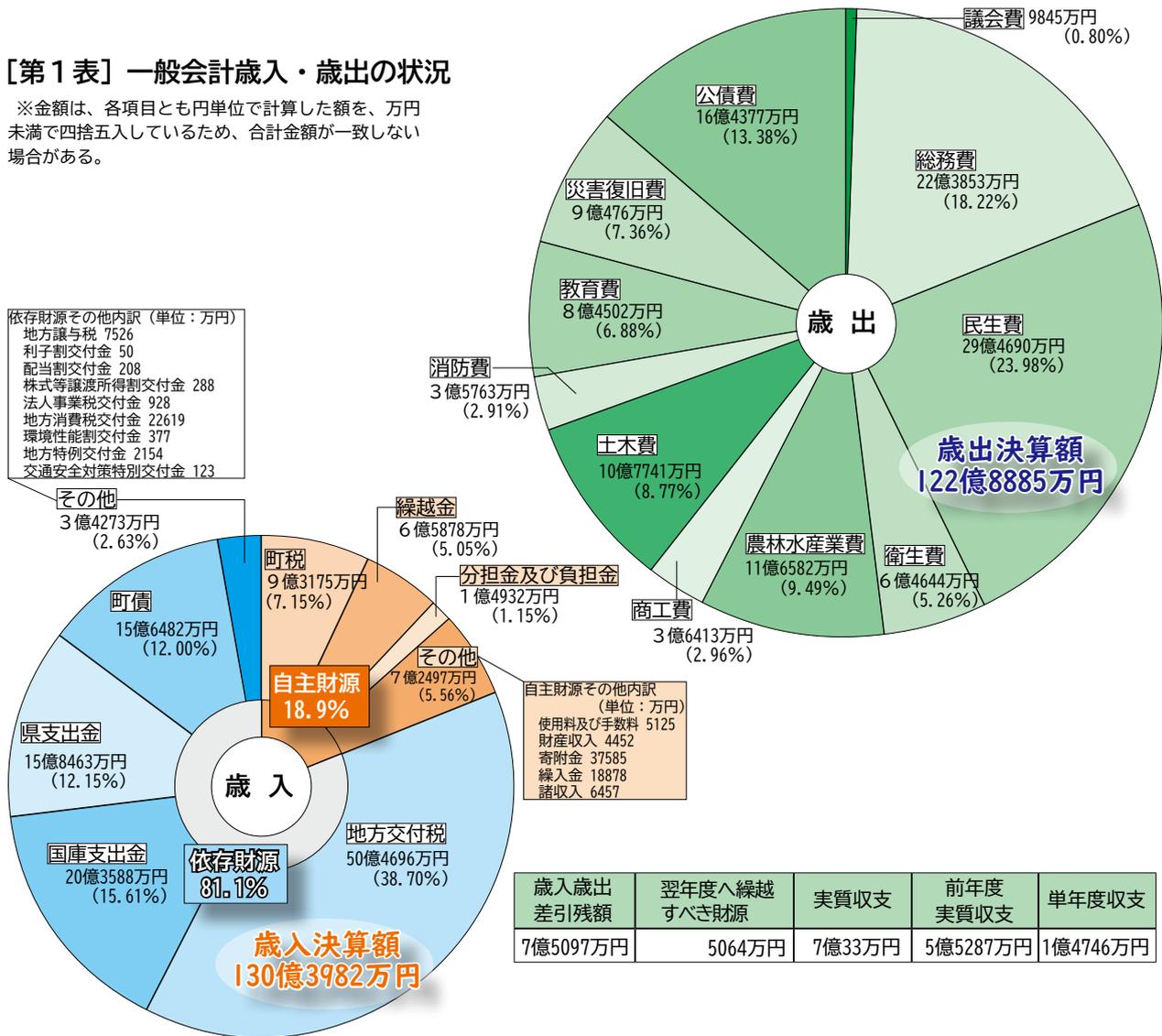
令和4年第3回臨時会が7月21日開かれ、備品購入に関する売買契約1件を可決したほか、7月5日に任期満了により退職した岩切豊前副町長の後任として、長岡勇二氏（葛輪）が選任され同意した。

町のふとろ事情を審査

令和3年度決算を認定

〔第1表〕一般会計歳入・歳出の状況

※金額は、各項目とも円単位で計算した額を、万円未満で四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合がある。



第1表は、一般会計の決算状況をグラフ化したもの。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた残額は7億5097万円、翌年度（4年度）への繰越額を差し引くと7億33万円の黒字となった。これから前年度（2年度）の実質収支額を控除した単年度収支額も、1億4746万円の黒字となった。

令和3年度一般会計では、近年、減少傾向にあった不用額（歳出経費のうち、結果として必要がなくなった金額）が増加した。災害復旧に係る繰越金の事業確定に伴う事業費の減などで、約1億8千万円（予算額に対する割合1・38%。前年度比2・3倍）となった。

議決された予算が目的に沿って適正かつ効率的に執行されたか、どのように行政効果が発揮できたか、今後の行政運営においてどのような改善、工夫がなされているかを主眼に審査した。

令和4年第3回長島町議会定例会では、令和3年度の一般会計と各特別会計、水道事業会計（公営企業会計）の決算認定14件と、同事業会計決算の利益剰余金の処分に関する議案1件が決算審査特別委員会（兒玉誠委員長）に付託された。

〔第2表〕特別会計の収支の状況

(単位：円)

区分 (特別会計名称)	歳入総額	歳出総額	翌年度へ 繰越すべき財源	実質収支額	単年度収支
国民健康保険	2,038,858,382	1,787,775,277	0	251,083,105	62,678,294
国民健康保険診療施設	435,373,667	427,394,387	0	7,979,280	2,499,264
へき地診療施設	53,377,632	45,518,851	0	7,858,781	5,012,794
介護保険	1,330,509,271	1,259,514,067	0	70,995,204	26,787,660
簡易水道	124,473,601	121,314,390	0	3,159,211	365,651
諸浦港埠頭	6,932,609	2,817,276	0	4,115,333	1,149,794
農業集落排水	52,700,864	52,045,129	0	655,735	▲515,389
漁業集落環境整備	41,454,894	40,646,070	0	808,824	▲295,620
特定地域生活排水処理	7,259,017	6,994,572	0	264,445	▲611,952
後期高齢者医療	143,835,189	140,716,273	0	3,118,916	2,454,998
太陽光発電	170,553,508	94,242,298	0	76,311,210	3,167,320
観光施設	135,995,800	135,854,628	0	141,172	▲19,828,304
合計	4,541,324,434	4,114,833,218	0	426,491,216	82,864,510

〔第3表〕水道事業会計の収支の状況

(単位：円)

水道事業	収益的収支（経常的な運営経費）			資本的収支（水道施設整備などの投資的経費）		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
	384,139,156	359,900,706	24,238,450	0	136,552,400	▲136,552,400

※不足分は、過年度分損益勘定留保資金などで補填した。

委員会の質疑から（一部抜粋、審査順）

▼企画財政課

Q. 1億8千万円も不用額が発生した。企画財政課の見解は。

A. 予算の計上や査定、補正予算による組替えなど徹底したい。

▼総務課

Q. 包括委託の来年度の考えは。

A. 令和4年度で終了予定である。

▼水道課

Q. 水道事業会計決算において、現在の償還金が返済完了となるのはいつか。

A. 今後借入金がなければ令和31年度に完了となるが、今後も起債予定であるため償還金は継続する。

▼教育総務課

Q. 各学校のトイレ改修は完了したか。

A. 計画している洋式化は終了した。一部の学校で改築計画などの関係で和式が残っている。

▼地方創生課

Q. 指江支所にある保冷库の現状は。

A. 全ての保冷库が空の状態。今後の活用方法を検討する。

▼介護環境課

Q. 前年度と比較して、海岸漂着物の処理量が減少した要因は。

A. 令和2年度は台風時の漂着ごみを一時集積していたため量が多かった。3年度は例年並みの処理量であったと考える。

▼水産景観課

Q. 観光施設特別会計では、どのような経営改善を図っているか。

A. 人件費や材料費の削減、新メニューの開発などを図っている。

▼農政課

Q. 長島ファームに要した畜産クラスター事業の補助額は。

A. 平成28年度から令和3年度繰越までで5億1100万円。

委員会の意見

令和3年度の決算は、次の意見を付して認定した。

- ①多額の不用額が生じたことについて、補正予算の編成には、各所属長が確実に予算の執行状況を精査し、職員と一体となって予算執行に努められたい。
- ②指江支所の保冷库の活用について、国庫補助金を活用した事業であることを再認識したうえで、適正な管理運営に努められたい。



空になっている保冷库内を確認する委員

一般質問

町政を問う

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねること。

単に疑問をはらし、事実関係

を明らかにするだけではなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動である。

令和4年第3回定例会（9月）では次の6人の議員が質問した。

1 林 義明（7ページ）

- ・ サツマイモ基腐病の発生状況は
- ・ 新品種「みちしずく」の取組みは



3 上筋 睦雄（9ページ）

- ・ 新型コロナ対策と今後の施策は
- ・ 脱炭素（カーボンニュートラル）の取組みは



5 小田 勝志（11ページ）

- ・ 小中学校の安全対策と教職員の勤務実態は
- ・ サツマイモ基腐病対策は
- ・ 町立図書館の管理状況は



2 上平 重（8ページ）

- ・ 小中学校の再編、合併は
- ・ 第3次行政改革大綱の進捗状況は
- ・ 稼げる観光地とは



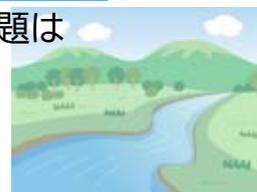
4 兒玉 誠（10ページ）

- ・ メロディロードの整備を
- ・ 合併処理浄化槽設置補助金の継続を



6 楠元 康博（12ページ）

- ・ 川内原発20年延長稼働問題は
- ・ 小浜川防災は
- ・ 通学路の整備を



サツマイモ新品種の実施は

答 情報収集に尽力する

サツマイモ基腐病の対策は

林 平成30年に沖縄県や宮崎県、鹿児島県で確認され、これまでに27都道府県で発生が確認されているサツマイモ基腐病。
本町の発生状況と対策は。

町長 令和3年の作付面積167畝に対し、1株でも症状が見られた畑は70%と見込んでいる。
病原菌を「持ち込まない」「増やさない」「残さない」の3つの対策

が重要。

町の支援事業として、苗の消毒、ウイルスフリー苗の支援、薬剤の散布、ほ場の残さ処理に対して上乘せ補助をしている。

林 サツマイモ栽培における基腐病防止の支援は。

町長 でん粉用で、苗購入、消毒、防除消毒などの経費を計算すると、利益としてはマイナスになる。



毎床にある貯蔵庫

林 種イモの蒸熱処理に、毎床（川床）に設置しているキュアリング貯蔵庫を利用できないか。

町長 蒸熱処理は基腐病の発病が抑制され、腐敗塊根^{かいこん}の発生リスクを軽減する効果が認められているが、キュアリング貯蔵庫は設備の機能からして処理できない。

林 農家の高齢化に伴

い、機械利用組合（仮称）の設置はできないか。

町長 機械の購入や管理組合の設置など課題が多い。

農協や商社などがまとめて運営するものに町が補助するものが望ましい。

農地耕作については、従来の町単独事業と、基腐病に限った国県の事業が創設されているので、令和5年度の作付には補助事業を取り入れていきたい。

林 サツマイモの新品種「みちしずく」の取り組みは。

町長 「みちしずく」は病害虫抵抗性が高く収量性が多いとのことである。

焼酎用・でん粉用ともいいようなので、病気にかかりにくい品種の推進をしていく。
品種の持つ特徴や栽培技術などの情報収集に尽力する。



溝掘機

林 義明 議員



上平 重議員



中学校再編の議案否決から7年。学校再編、町長の考えは

答 小学校は複式学級の解消、中学校は1校が望ましい

学校再編の考えと樹木の安全管理は

上平 平成27年3月、中学校再編に関する議案が否決され7年が経過した。現在、小学校は11校から7校に再編。中学校も次の段階へ進めなければならぬ。町長の考えは。

町長 小学校は一部に残る複式学級の解消、減少する生徒数を考慮すると中学校は1校が望ましい。意見を集約し、教育の充実や交通・生活の利便性を踏まえ総合的に判断する。

上平 入学時からコロナ禍の影響を受けた中学3年生への対応は。

教育長 一部の学習や行事、部活動の制限があったが、創意工夫し教育活動を推進している。

上平 8月に曾於市内で発生した樹木落下事故を受け、町の対応は。

情報発信のデジタル化とサービスの向上を

上平 町ホームページ（HP）や公式SNS（交流サイト）などの活用は。

町長 HPで各課が情報発信しているが、SNSの活用は少ない。

デジタル化の課題には費用面のほか、教育や専門職員の育成がある。限られた中で推進する。

上平 マイナンバーカードの普及率と活用状況は。

町長 8月末現在の普及率は約40%。集落に出向く出張申請などで普及率向上を図る。身分証明や確定申告などで利用しているが、保険証としての活用は遅れている。

上平 公共施設の利用申請について、現在の電話対応は非効率。施設利用の予約システムを導入する考えは。

町長 経費がかかるため考えていない。

稼げる観光地とは

上平 近隣自治体では観光強化策を打ち出している。本町の稼げる観光の目玉は。

町長 町独自の活性化を掲げ、特に「サンセットの丘」が観光拠点となるよう、遊具の設置など公園整備に取り組む。

み、地域経済の発展につなげる。



小浜海水浴場からサンセットの丘を望む

上平 地域商社を活用する考えは。

町長 地方創生の実践に民間活力の利用は不可欠。8月、町内に長島大陸まちデザインが設立された。住民目線で新たな地域資源の発掘に務める。



町内学校に立つシンボルツリー

コロナ対策、町に申し入れ

上筋 睦雄 議員



答 ありがたく受け止めた

知見を基にコロナウイルス対策

上筋 議会は7月、文書で「休日も相談窓口」に専属職員の配置を、「感染所帯への支援を」、「臨時交付金の活用は」、「適切な情報提供を」の4項目を要望した。これに対し行政は「医療従事者の確保が困難」、「希望があれば保存食配布」、「保管中のマスクを希望者に配布」、「広報紙や防災無線で注意喚起」と回答した。

極めて消極的、町民を代表する議会と議長

識見の軽視。

町長 4項目大変ありがたく受け止めた。早速取り組んだ項目もある。

上筋 ウイズコロナ時代の教育、タブレット端末を活用したオンライン授業、ホームルーム、悩み相談などの検討、進捗状況は。

教育長 タブレット端末は町内全児童生徒に配備。持ち帰り学習は、9月中に4小学校で計画されている。

脱炭素への取組み

上筋 「脱炭素宣言」早や1年。いつまでに何を行うのか。行程表は。

町長 環境省の令和4年度補助事業に応募したが不採択となった。

白紙に戻し計画を立てる。

上筋 再生可能エネルギー、送電能力・町内での高電圧の不利など課題の解決は。

町長 国および電気事業者が対応。

上筋 家庭のCO2の排出を抑えるオール電化は。

町長 オール電化の推進は考えていない。

上筋 しばらくはベースロード電源としての原発、緊急時の避難路の見積、ウクライナ情勢にみる原子炉の防御、住民の安全担保は。

町長 避難路は原子力災害避難計画、原子炉防御は福島原発事故を教訓とした原子力規制委員会の新規制基準。

上筋 補助金も国交省関連から、コロナ・環境・GX関連に移行。飯島架橋を参考に、新しい資本主義、官民協働の準備を。再生可能エネルギーは、長島の未来「長島電力公社」の立ち上げを。オール電化、一所帯90万円、

千軒10億円で可能。避難路は二つの架橋またはトンネルで長島・獅子島・天草をつなぐ。原発防御、平成13年12月22日、北朝鮮の工作船の例もある。原子炉の破壊工作対処は喫緊の課題である。



避難路（長島—獅子島—天草）

児玉 誠議員



合併処理浄化槽設置事業
補助金の継続を

答 継続していくよう努力する



特許を持つ北海道の事業者が全国に展開しているメロディーロードマップ（上）と路面に記された起点を示すト音記号

メロディーロードの設置を
児玉 本町では、ぐ
るつとフラワーロード
を形成し、景観整備を
進めることで周遊観光
を目指している。町民
からの提案で、からだ
全体で感じられるアト
ラクションとして国道

解説

メロディーロード
舗装道路に等間隔に
切り込みを入れるなど
して、その溝を通過す
るときに起きる微振動
を車内でメロディーと
して感じることができ
る道路。

や県道、町道にメロ
ディーロードを複数整
備し、観光客の増加と
交通事故防止を図る考
えはないか。

町長 車の走行に安全
とイメージアップを図
るため「蛍光ライン整
備」を進めている。
公約に掲げている花
と樹木、いわゆる香木、
香りとメロディー、さ
らに光を取り入れた、
そんな夢のあるファン
タジーの長島を創って
いきたい。

合併浄化槽の設置
補助継続を

児玉 環境対策として
これまで強力に進めて
きた合併処理浄化槽設
置事業の補助金が今年
度で終了する。これま
でどおりの補助水準を
継続すべきでは。

町長 浄化槽について
は、補助事業として継
続していくよう努力す
る。

補助金の水準は

児玉 現在、5人槽で
81万1千円の補助だ
が、同程度の金額で考
えているのか。

町長 現在の補助内容
と格差が生じない制度
を検討していく。

新築住宅は

児玉 新たに家を建て
る人には県の浄化槽設
置補助がないようだ
が、同様の補助を続け
るのか。

町長 新築については
県の補助がなく、町が
負担して推進してきた。
今年度と変わらな
いような制度を検討す
る。

[浄化槽設置の補助金額・個人負担額] (単位：円)

人槽区分	総事業費	補助金額(上限額)	個人負担額
5人槽	896,000	811,000	85,000
7人槽	1,073,000	973,000	100,000
10人槽	1,387,000	1,262,000	125,000

校内樹木の倒木の危険性は

答 樹木医の診断を受け、適正に判断する

小田 勝志 議員



町内の学校敷地内にそびえる大木

学校の安全対策、危険個所の把握は

小田 樹木の倒木で重大事故が起きた。町内各学校の樹木などの総点検をすべき。倒木に

よる危険はないか。築50年以上が経過した建物の耐震性は。

教育長 樹木医が53本を対象に診断しており、樹木医の判断を基に対応する。

建物は耐震基準をクリアしており、学校からの報告や専門業者の巡回などで確認している。

教職員の働き方改革の取組みは

小田 少子化にも関わらず、教職員の半数はデジタル化対応などで「休憩時間ゼロ」との報道。負担軽減のため、部活動指導を地域に移行できないか。

教育長 時間外勤務の目安となる月45時間を超えたのは、今年度1学期平均で全体の3割と減少している。部活動の地域移行は研究しながら進める。

小田 学校施設の老朽化に伴い、今後の中学校合併に向けての町長の考えは。

町長 部活のスポーツ指導員を中学校合併の目玉とし、中学校は1校に、小学校は複式学級の解消を図る。時期は町民の理解を得なが

らできるだけ急いで進める。

サツマイモ基腐病の対策は

小田 昨年度と今年度のサツマイモの作付面積は。今年度の基腐病の発生状況は。

町長 作付面積は昨年度167畝、今年度120畝。現時点での発生は作付面積の2%となっている。

小田 町の対策は。

町長 基腐病対策の資材に対し2分の1を、苗の購入費用にも補助している。

小田 ほ場整備にも補助すべきではないか。

町長 造成や客土、深耕が対象となるか検討する。

町立図書館の管理状況は

小田 リニューアルした町立図書館の利用者数は。

教育長 コロナ禍の影響はあるが、8月末までの2館合計で約1200人が利用。

小田 管理状況や利用者の利便性を考慮し、開閉館の時間を見直す考えは。

教育長 管理状況および時間帯について検討、研究していく。



リニューアルした指江図書館

楠元 康博 議員



川内原発20年延長は

答 当分は国の方針に従わざるを得ない

川内原発20年延長
稼働問題

楠元 九州電力と政府は川内原発の耐用年数40年を過ぎたものをさらに20年延長し、再稼働する計画のようである。再稼働申請は確実とみられる。

福島第一原発事故から12年近く経つた今でも、帰還できない人が生活の場を失い避難生活を余儀なくされている。

川内原発も最悪の場合を想定するとこのようにならないとも限らない。避難道路としての国道389号は黒之

瀬戸大橋を渡り蔵之元へ通じる。橋は昭和49年の開通以来50年が経過しようとしている。耐用年数を考えると第2の黒之瀬戸大橋の検討が必要。また、天草方面への避難橋の計画を早急に取り掛かるべきである。

町長 当分の間、自然エネルギーで賄えるような見通しがつくまでは国の方針に従わざるを得ない。

避難路として西回り自動車道の事業が採択された。黒之瀬戸大橋の改修については維持補修でつないでいきたい。

避難ルートとして黒之瀬戸大橋を通り、天草へ行く三県架橋が一番適している。長島天草間の架橋実現をお願いしている。



石が抜け落ち崩落寸前の石積み(小浜川沿い)

小浜川防災と呼称

楠元 小浜川は毎年のように水害が起きる。今年は大規模な水害を防止して貰った。川の下部は大きく蛇行し堤防の石積みに亀裂が入り、抜け落ちて崩落寸前の部分がある。早急に対策を。

また、小浜川の呼称について県が設置した看板では「こはまがわ」となっている。「おはまがわ」に変更できないか。

町長 小浜川の補修に



「こはまがわ」と書かれた看板

については、災害を未然に防止するため、河川改修と併せて補修を県へ要望する。

川の呼称については、地域の声ということで県と名称変更について協議する。

通学路の整備

楠元 国道389号の小浜蔵之元間の歩道側が草で生い茂っている。子供たちが安全に登下校できるように、除草作業の回数を増やすなどの対策を。

町長 通学路については防草対策が必要であると感じている。県に対して石張りなどの防草対策を要望する。



草が生い茂った通学路

学校再編

特別委員会の設置を可決 統合再編 全議員で再調査

令和4年第3回定例会の最終日、議員発議による「学校統合再編調査特別委員会」が設置され、委員長に林義明議員、副委員長に上筋睦雄議員が決定した。

平成27年第2回臨時会で、町内の4中学校を1校に統合し、旧長島高校跡地に中学校を開設する条例改正案が否決されてから約7年。この間、小学校3校（本浦・田尻・汐見）

（見）が統合されたものの、一部の小学校に残る複式学級の解消と中学校の統合に関する課題は残されたままとなっていた。

人口減少や少子高齢化に歯止めがかからない中、未来を担う子どもたちとその保護者らの学校統合再編に関する不安解消のため、今後、全議員で町内小中学校の在り方について調査する。

町内の学校統合再編の推移

平成25年4月	獅子島小学校開校 (旧獅子島小・幣串小が統合・再編)
平成27年3月	4中学校を1校に統合再編する議案が否決(賛成3、反対9)
平成27年4月	本浦小学校が鷹巣小学校に統合(本浦小が閉校)
平成29年4月	田尻小学校が川床小学校に統合(田尻小が閉校)
平成30年4月	汐見小学校が城川内小学校に統合(汐見小が閉校)



平成27年に閉校した旧本浦小学校

7月12～13日、議員7名が県内の宿泊施設を視察した。

昨年度、サンセット長島跡地（指江）への大型宿泊施設の建設計画が白紙になったことに伴い、町が今後行うホテル誘致の公募要件の参考とするため、県内の多様な宿泊施設を視察することで、本町に見合う施設の条件などを確認した。

伊佐市のコンテナホテルや霧島市の老舗旅館、いちき串木野市のグランピングができるホテルなどを見て回った。

ホテル誘致

県内施設を視察

町に必要な宿泊施設は



おりはし旅館（霧島市）は大正時代から続く老舗旅館。風情あるたたずまいが人気

参加した議員らは、施設内だけでなく周辺の立地状況など本町の実態と照らし合わせながら、担当者の説明に熱心に耳を傾けた。

視察後、議員それぞれの意見をとりまとめ、温泉整備や飲食施設の併設、地元雇用の優先などを公募要件の参考にすることを町へ伝えた。

9月末、町はプロポーザル方式による公募を開始した。



昨年、いちき串木野市にオープンした吹上浜フィールドホテル。敷地内にはホテル棟のほかトレーラーハウスが連なる

新型コロナウイルスなどに関する

条例・予算を審議

総務民生常任委員会

委員長 兒玉 誠

委員会付託案件

○議案第66号

長島町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について

○議案第68号

一般会計補正予算

○議案第69号

国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

○議案第70号

国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第3号）

○議案第71号

介護保険特別会計補正予算（第3号）

○議案第72号

太陽光発電特別会計補正予算（第1号）

※委員会の審査報告は、質疑のあった主な議案のみ掲載しています。

○議案第66号

▼総務課

Q. 「長時間にわたり従事した場合」とは何時間か。

A. コロナ感染症の患者や疑いのある患者への接触が1日おおよそ1時間以上の場合である。

○議案第68号

▼企画財政課

Q. 指定航路の獅子島・水俣間の船舶更新についての現状は。

A. 地元からの要望もあり県と協議を進めている。県の予算確保のためにも国の指定航路

に準じて必要な調査・計画を早急に策定し、要望する必要がある。

Q. 牛深航路は現在赤字経営のようだが、今後の補助金交付の予定と国の指定航路としての考えは。

A. 今年度はコロナ交付金500万円を活用しているが、今後については国からの臨時交付金がなければ補助を続けていくのは難しい。国の指定航路について働きかけはあるようだが、会社との協議が進まなかった状況である。今後については天草市と協議をしていきたい。

▼町民保健課

Q. マイナポイントの申請はどのような方法か。

A. スマートフォンやパソコンなどを使って、マイナポータルサイトから手続きを行い、各種サービス会社で契約を行うことで、最大2万円分のポイントを申請することができる。



▼介護環境課

Q. 検査キットの購入数と今後の活用方法は。

A. 5千個購入し、コロナ感染症に不安を抱える町民に対し、個人配布を計画している。広報紙や町ホームページなどで申請方法などを周知する。

▼福祉事務所

Q. 社会福祉協議会の福祉車両購入価格と活用業務内容は。

A. 価格は167万5千円で、内訳は中央共同募金会からの助成金110万円、町補助金50万円、社協負担金7万5千円である。購入目的は、デイサービス利用者の送迎や給食サービスの配達など。



抗原検査キット

○議案第69号

▼診療所

Q. 防疫作業手当てについて、支給期間はいつまでか。またPCR等無料検査所に従事する職員は対象とならないか。

A. 支給期間は、発熱外来が開始となった令和4年7月までさかのぼり5年3月末日まで。補助金の対象となるのは、感染が疑われる患者に接する者で、無症状を前提とした無料検査所の従事者は対象外。



10月から鷹巣診療所に移った検査所

商品券は目的と詳細を詰めて

建設経済文教常任委員会 委員長 二階堂 猛

委員会付託案件

○議案第68号

一般会計補正予算
(第3号)

A. コープでも一部商品券が使用できることになった経緯は。

○議案第68号

▼教育総務課

Q. 川床小学校の冷蔵庫は購入から25年過ぎているとのことだが、他の小中学校の状況は。

A. 鷹巣中学校の4年経過を除き、ほとんどが20年以上経過している。

▼水産景観課

Q. プレミアム付き商品券販売の周知はどうするか。

A. また、町内2店舗の



提案された予算の詳細を確認する委員

過去の同事業で「町民が使いやすい商品券を」との意見が多かったため、町と商工会で協議した結果、Aコープでも3千円のみ使用できるものとした。

▼建設課

Q. 空家等対策協議会は年に何回開催しているか。

A. 1回程度、計画の策定や変更がある場合に開催している。今年度は5カ年計画の最終年で、計画期間の変更を行う必要がある。

▼農政課

Q. 畑作農産加工センター敷地購入に至った経緯と1㎡単価を千円とした根拠は。

A. 購入しようとする敷地はセンターの甘

しよ貯蔵施設で、賃賃借契約している2名の地権者から同意が得られたため購入する。令和2年度にセンター敷地を購入した際の単価を根拠とした。

▼耕地林務課

Q. 農林基盤整備促進事業の物件移転補償は、地すべり災害に係るものか。

A. 平尾温崎^{ぬくさき}地区の農道改良を来年度に計画していたが、地すべり災害の抑止杭施工に支障があるため、本年度中に電柱を移転するための経費である。

▼社会教育課

Q. 獅子島の化石発掘調査に関して、過去の調査実績も踏まえて広報機関へのPRを行うべきではないか。

A. 今回は予備調査のため、化石が見つかるかわからないことと、発掘調査の結果に基づいて町の方針を検討すべきと考えるため、化石が見つかる前段階でのPRは難しい。



花きハウス建設予定地を調査する委員(矢堂)

◎付帯意見

▽プレミアム付き商品券販売に関し、一部の自治体で販売の際に混乱が生じているので、目的と事業の詳細を詰めて実施されたい。
▽獅子島の化石発掘調査が不明確である。今後の産業振興や観光発展につながるよう、しっかりと目的を定めて調査すべき。

議会のうごき

7月

- 4日 第2回広報特別委員会 (No.69)
- 6日 阿久根地区消防組合議会第2回臨時会(阿久根市)
- 12～13日 宿泊施設に係る現地視察 (県内)
- 14～25日 決算審査・工事事務監査
- 15日 南九州西回り自動車道建設促進期成会総会 (出水市)
- 15～16日 天長フェリー進水式 (長崎県佐世保市)
- 19日 議会運営委員会 (第3回臨時会のため)
- 20日 例月出納検査
- 21日 令和4年度長島町戦没者追悼式(文化ホール) 第3回臨時会
- 22日 阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)
- 26日 北薩広域行政事務組合議会第2回定例会(出水市)
- 29日 「サンセット牛之浜景勝地」道の駅整備促進協議会総会(阿久根市)



進水式で玉串を捧げる林議長

8月

- 4日 市町村総合事務組合議会令和4年第1回臨時会 (鹿児島市)
- 10日 三原架橋推進会議(開発総合センター)
- 12日 北薩広域行政事務組合議会第2回定例会(出水市)
- 22日 例月出納検査
- 23日 阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)
- 29日 議会運営委員会 (第3回定例会のため)
- 2～22日 第3回定例会
- 2日 第7回全員協議会
- 7日 第8回全員協議会
- 20日 阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)
- 26日 例月出納検査
- 28日 杉ノ段招魂祭

9月

傍聴の際は

感染対策を



長島町議会へ傍聴にお越しの際は、マスク着用、手指消毒など感染防止対策にご協力ください。
本会議は、町ホームページやスマートフォン、役場ロビーのテレビでもご覧いただけます。
次の定例会は12月に開会される予定です。



第3回議会定例会が9月2日から22日までの会期で開かれた。6名の議員が町政に対する質問をし熱心な討議が行われた。また、令和3年度の決算審査も行われ認定された。

シルバークウィーク前半の3連休、大型で猛烈な台風14号が県内を風速25m/s以上の暴風域に巻き込み、鹿児島市付近に上陸し各地に甚大な被害をもたらした。

本町では停電こそあったものの、目立った被害はなく胸を撫で下ろしたところである。今回は「非常に大型で強力な台風」とのことで多くのかたがたが早目に避難され、事なきを得た様子。

備えあれば憂いなし。災害は忘れた頃にやってくる。常に注意を怠ることのないようにしたい。

(楠元 康博)

【発行責任者】

議長 長 林 誠治

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 池田 安彦
副委員長 上平 重
委員 楠元 康博
委員 竹山 司郎
委員 上筋 睦雄

